

資料2 川奈地区の津波対策（短期・中期・長期）

第4回地区協議会資料
（平成29年2月24日）

	課題	担当	短期的対策（2～3年）	中期的対策（10年以内）	長期的対策	備考	
ハード対策	津波防護施設 （護岸等）	・川奈地区でレベル1津波を防ぐためには、 T.P.+5.5m（一部6.5m）の防潮堤が必要	県 ・川奈防波堤改良（消波工）（H-1） ・川奈防波堤クラック補修（H-2） （川奈北物揚場段差・傾斜解消） （宮町船揚場ピット新設） （小浦第1物揚場クレーン基礎撤去） （小浦第2物揚場段差・クラック補修）			・レベル1津波による浸水被害を防ぐための護岸整備（かさ上げ）は当面実施しない。 ・津波対策にもつなげる防波堤の改良 ・補修は実施する。	
	避難路	・避難路の整備	伊東市	・避難路の整備（階段の改良） （S-1-1） ・避難路の整備（階段に手すり） （S-1-2）		・避難路が市が管理する道路になっている箇所については、地元と優先順位を協議しながら整備していきます。 ・避難路が民地になっている箇所については、市では整備できませんが材料（手すりのパイプ等）を支給することは可能です。	
ソフト対策	避難路（標識）	・誘導のための目印が必要 ・避難ステッカーをたくさんつけてほしい	伊東市	・津波避難方向の路面表示等の充実 （S-2）			
	避難路（照明）	・明かりが少ない	伊東市	・街灯の新設及びLED化に対する補助 （S-3）		・町内会での設置となります。 ・ソーラー式街灯は協議が必要となります。	
	自宅等建築物の対策	・倒壊しそうな建物あり ・自宅の倒壊が心配	伊東市	・無料耐震診断（昭和56年以前建築の木造住宅） ・耐震補強費用の補助		・「TOUKAI-0」による支援	
	情報連絡 （事前準備）	・避難計画	伊東市	・津波避難計画作成			
		・津波浸水区域等の周知	伊東市	・総合防災ガイドブック（ハザードマップ）全戸配布			・平成28年3月配布済み ・随時更新
		・災害弱者対策	伊東市	・避難行動要支援者避難支援計画（個別計画）の作成			・市・自主防・民生委員等
		・自主防災会ごとの津波避難行動計画作成	民間	・自主防災会ごとの津波避難行動計画作成			・作成支援（伊東市）
	情報連絡 （発災後）	・情報伝達手段の整備	伊東市	・Jアラート（全国瞬時警報システム）の活用 ・沿岸部等の同報無線のデジタル化 ・同報無線とその他の情報伝達手段（メールマガジン、ケーブルテレビ、FMラジオ、エリアメール）の自動連動化			・整備済み（伊東市）
		・安否確認手段の整備	民間	・「災害用伝言ダイヤル171」の活用 ・家族間・近所であらかじめ取り決め			・活用方法等の周知（伊東市）